



# 丘陵地一帯が桃色に！ 春日井・小牧の桃 人工授粉始まる



▲毛ぼうしで丁寧に花粉をつける桃農家

JA尾張中央(代表理事組合長:長谷川浩敏)管内で、特産の桃の花がまもなく満開を迎えます。この時期は、春日井市・小牧市にまたがる丘陵地一帯が鮮やかな桃色に染まり、桃の満開に合わせて授粉作業が始まります。

今年の開花時期は昨年より2日ほど早く、3月29日頃に満開になり、作業もピークを迎える予想されています。(※日程は前後する可能性あり。)丘陵地では、日当たりや水はけが良いことを利用して明治時代から桃栽培が始まり、県下でも有数の産地となっています。特に全国でも名高い「しのおかの桃」は逸品として知られ、ふるさと納税の返礼品としても人気を博しています。

【取材対応期間】 29日から約1週間程度

## 【桃生産部会について】

- 部会長：伊藤 芳美
- 会員数：62人
- 出荷量：約39.4t(令和2年選果場出荷量)
- 品種：はなよめ、日川白鳳、白鳳、愛知白 など

## 【人工授粉の目的】

桃の多くは自分の花粉で受粉(自家受粉)しますが、市場では大玉果に需要があるため、蕾や花を摘取って少量の果実に養分を集中させ、その花を確実に受粉させるため人工授粉を行います。

## 【人工授粉の手順】 ※生産者によって作業方法が異なります。

- ① 3月頃、開花直前のつぼみを摘取る。
- ② 摘取ったつぼみを開薬器で約20℃で10時間ほど乾燥させて花粉を採取する。
- ③ 採取した花粉を「毛ぼうし」に付け、雌しべに付ける。



棒の先に綿毛が付いた「毛ぼうし」を使って雄しべの花粉を雌しべに付けていきます

## 春日井市・小牧市の栽培概要

- 桃栽培面積 75ha(2019年度)
- 桃生産者 桃生産農家戸数 202戸

JA尾張中央は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



授粉作業は、気温が高く雌しべから花粉が取れる午前10時～午後2時ごろの間に行います！



▲満開に合わせて始まる桃の授粉作業

【お問い合わせ先】 ※取材にお越しいただける際は、ご一報ください。

- JA尾張中央 小牧東部営農生活センター (担当: 岩井)  
TEL: 0568-79-8000 FAX: 0568-79-8110  
Email: komakitobueino@ja-owari-chuoh.or.jp
- JA尾張中央 総合企画部 広報課 (担当: 桜井)  
TEL: 0568-47-5610 FAX: 0568-47-5611  
Email: koho@ja-owari-chuoh.or.jp

